



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月27日

上場会社名 イビデン株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4062 URL <https://www.ibiden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 武志
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部副本部長 (氏名) 佐野 尚 (TEL) 0584-81-3111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月1日 配当支払開始予定日 2022年11月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	213,579	9.1	41,404	18.2	45,536	27.2	31,812	42.9
2022年3月期第2四半期	195,832	36.0	35,018	130.7	35,786	121.8	22,254	90.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 47,629百万円(95.7%) 2022年3月期第2四半期 24,340百万円(38.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第2四半期	円 銭 227.84	円 銭 —
2022年3月期第2四半期	159.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第2四半期	百万円 800,417	百万円 415,687	% 51.2
2022年3月期	664,332	370,728	54.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 409,423百万円 2022年3月期 364,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 40.00
2023年3月期	—	30.00			
2023年3月期(予想)			—	20.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	7.2	73,000	3.1	77,000	3.5	48,000	16.4	343.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	140,860,557株	2022年3月期	140,860,557株
2023年3月期2Q	1,210,599株	2022年3月期	1,252,626株
2023年3月期2Q	139,624,411株	2022年3月期2Q	139,607,935株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国においてコロナウイルス変異株(COVID-19)による影響からの持ち直しの動きが進みましたが、世界的な金融引き締めや地政学情勢に伴うエネルギー価格上昇の影響による下振れリスクが顕在化しました。国内経済は、経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しの動きがみられましたが、急速な円安進行による各種資材価格の上昇や供給制約のリスクなど、依然不透明な状況にあります。

半導体・電子部品業界の市場は、パソコン市場において、テレワークやオンライン教育向け及びOS更新に伴う一時的な需要増加は一巡したものの、データセンター向けを中心としたサーバー市場が引き続き堅調に推移し、全体として成長傾向で推移しました。

自動車業界の排気系部品市場は、世界的な半導体不足や中国都市部におけるロックダウンによる厳しい状況が継続しました。

このような情勢のもと、当社におきましては、今年度は、2018年度から始動した5ヵ年の中期経営計画「To The Next Stage 110 Plan」の最終年度となります。目標の達成に向け、人財育成を基盤に、伸びる市場に対して積極的に経営資源を投入し、既存事業の競争力強化と新規事業の拡大による安定した成長の実現に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,135億79百万円と前年同期に比べ177億46百万円(9.1%)増加しました。営業利益は414億4百万円と前年同期に比べ63億86百万円(18.2%)増加しました。経常利益は455億36百万円と前年同期に比べ97億50百万円(27.2%)増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は318億12百万円と前年同期に比べて95億57百万円(42.9%)増加しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

パッケージ(PKG)事業におきましては、夏場以降はパソコン向けの需要が減速したものの、サーバー向けの需要が順調に推移したことにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

マザーボード・プリント配線板(MLB)事業におきましては、モジュール基板の売上が堅調に推移した結果、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、電子事業の売上高1,343億16百万円となり、前年同期に比べ16.5%増加しました。同事業の営業利益は354億56百万円となり、前年同期に比べ27.3%増加しました。

セラミック事業

自動車排気系部品であるディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、大型商用車向け製品への受注シフトを進めましたが、半導体不足や中国都市部におけるロックダウンの影響による受注減少に加え、原材料費や欧州を中心としたエネルギー価格の高騰による影響を受けた結果、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ減少しました。

触媒担体保持・シール材(AFP)は、安定量産を継続する揖斐電精密陶瓷(蘇州)有限公司を中心に中国市場での拡販を進めた結果、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

特殊炭素製品(FGM)は、半導体製造装置向け製品を中心に需要の高まりを受け、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、セラミック事業の売上高は442億97百万円となり、前年同期に比べ4.4%減少しました。同事業の営業利益は38億52百万円となり、前年同期に比べ5.7%減少しました。

その他事業

建設部門におきましては、発電プラント事業において、発電設備の建設工事受注が堅調に推移し

たことに加えて、大型工事が着実に進行したことなどにより、売上高・営業利益ともに前年同期並みとなりました。

建材部門におきましては、原材料費の高騰による影響を受けたものの、販売価格の見直しによる効果に加えて、抗ウイルスメラミン化粧板及びその関連商材の販売が増加したことなどにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

その他部門におきましては、法面工事部門において、大型工事物件の減少に加えて、一部工事の完工が下期以降にずれ込んだことなどにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、その他事業の売上高は349億64百万円となり、前年同期に比べ2.2%増加しました。同事業の営業利益は23億17百万円となり、前年同期に比べ24.6%減少しました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想については、2022年4月27日に公表した通期の業績予想を修正しました。詳細については、本日公表した「2023年3月期第2四半期連結累計期間の予想値と実績値との差異及び2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	185,592	278,923
受取手形、売掛金及び契約資産	92,083	73,172
商品及び製品	26,822	34,859
仕掛品	19,785	20,099
原材料及び貯蔵品	27,959	31,970
その他	11,120	13,370
貸倒引当金	△94	△70
流動資産合計	363,270	452,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	76,266	78,206
機械装置及び運搬具（純額）	87,979	92,263
土地	20,108	20,286
リース資産（純額）	285	254
建設仮勘定	34,013	80,497
その他（純額）	7,266	8,464
有形固定資産合計	225,920	279,973
無形固定資産	5,448	5,510
投資その他の資産		
投資有価証券	64,638	56,793
長期貸付金	8	8
繰延税金資産	3,951	4,306
その他	1,343	1,737
貸倒引当金	△247	△236
投資その他の資産合計	69,693	62,609
固定資産合計	301,062	348,093
資産合計	664,332	800,417

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,150	50,273
短期借入金	20,030	65,030
1年内償還予定の社債	20,000	—
未払金	18,278	33,979
未払法人税等	14,909	11,014
賞与引当金	5,384	5,621
役員賞与引当金	173	—
関係会社整理損失引当金	176	174
設備関係支払手形	4,806	24,902
その他	21,251	53,302
流動負債合計	156,160	244,297
固定負債		
社債	50,000	100,000
長期借入金	80,000	35,000
リース債務	199	187
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	578	726
株式報酬引当金	493	469
繰延税金負債	5,095	2,792
その他	1,007	1,188
固定負債合計	137,443	140,433
負債合計	293,603	384,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,494	64,494
利益剰余金	184,612	213,626
自己株式	△3,264	△3,123
株主資本合計	309,994	339,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,626	21,160
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	27,795	48,954
その他の包括利益累計額合計	54,581	70,274
非支配株主持分	6,152	6,263
純資産合計	370,728	415,687
負債純資産合計	664,332	800,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	195,832	213,579
売上原価	136,913	144,903
売上総利益	58,919	68,675
販売費及び一般管理費	23,900	27,270
営業利益	35,018	41,404
営業外収益		
受取利息	46	262
受取配当金	652	799
持分法による投資利益	2	0
為替差益	872	3,034
その他	684	479
営業外収益合計	2,258	4,577
営業外費用		
支払利息	141	127
社債発行費	145	197
貸倒引当金繰入額	660	—
その他	543	119
営業外費用合計	1,490	444
経常利益	35,786	45,536
特別利益		
固定資産売却益	90	75
投資有価証券売却益	87	19
受取保険金	97	105
その他	0	28
特別利益合計	276	229
特別損失		
固定資産除却損	3,628	2,218
減損損失	971	90
その他	127	282
特別損失合計	4,728	2,591
税金等調整前四半期純利益	31,334	43,175
法人税等	8,910	11,232
四半期純利益	22,423	31,942
非支配株主に帰属する四半期純利益	169	130
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,254	31,812

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	22,423	31,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	616	△5,473
為替換算調整勘定	1,300	21,160
その他の包括利益合計	1,916	15,687
四半期包括利益	24,340	47,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,141	47,504
非支配株主に係る四半期包括利益	199	125

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	115,273	46,344	161,617	34,215	195,832	—	195,832
外部顧客への売上高	115,273	46,344	161,617	34,215	195,832	—	195,832
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	96	98	8,491	8,589	△8,589	—
計	115,274	46,441	161,716	42,706	204,422	△8,589	195,832
セグメント利益	27,860	4,086	31,946	3,074	35,021	△3	35,018

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントに帰属しない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては971百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	134,316	44,297	178,614	34,964	213,579	—	213,579
外部顧客への売上高	134,316	44,297	178,614	34,964	213,579	—	213,579
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	41	41	7,039	7,080	△7,080	—
計	134,316	44,338	178,655	42,004	220,659	△7,080	213,579
セグメント利益	35,456	3,852	39,309	2,317	41,627	△223	41,404

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△223百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。